

**令和8年度東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会
病害虫研究会（夏期）開催要領**

東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会長
農研機構東北農業研究センター
農地高度利用研究領域長 高橋 智紀

1. 趣 旨

東北地域では、野菜などの園芸品目における総合的病害虫管理（IPM）の導入、水田作の大規模化に対応する発生予察と減農薬栽培の実践が進められている。品質や収量の確保には、病害虫の適切な防除と肥培管理が密接に関わっており、水稻や畑作物等の栽培特性や大規模ゆえの問題に対応するなど、地域で様々な取り組みが行われている。そこで、このような取り組みや対策について現地視察を含めた情報交換を行うとともに、東北地域における今後の展開方向について検討を行い、関連試験研究の推進及び連携協力を図る。

- 2. 開催日時** 現地検討会：令和8年 9月3日（木）13:00 ～ 17:00
研究会 ： 9月4日（金） 9:20 ～ 11:30

3. 開催場所

- 1日目：水稻品種「サキホコレ」栽培圃場
 （大仙市払田 JA秋田おぼこ サキホコレ専門部会圃場）
 スマート農業技術を活用した省力・低コスト化の取組圃場
 （大仙市強首 農事組合法人強首ファーム圃場）
 イネごま葉枯病防除試験圃場
 （秋田市雄和 秋田県農業試験場内圃場）
2日目：秋田拠点センターALVE（秋田市東通仲町4-1）

4. 検討内容

- 1）現地検討会 9月3日（木）13:00 ～ 17:00
（1）水稻品種「サキホコレ」栽培圃場（減農薬栽培の取組について）
（2）スマート農業技術を活用した省力・低コスト化の取組圃場（農薬散布ドローン、ザルビオ、自動操舵システムの活用について）
（3）イネごま葉枯病防除試験圃場（有効薬剤の検索等について）
- 2）研究会 9月4日（金）9:20 ～ 11:30
検討課題：水稻品種に対応した病害虫防除と園芸作物におけるドローンを活用した防除
（1）秋田県におけるドローンを活用した園芸作物の防除
 秋田県農業試験場生産環境部 病害虫チーム 研究員 蛭川 泰成
（2）イネごま葉枯病に対する土づくりによる耕種的防除
 秋田県農業試験場生産環境部 土壌基盤チーム 主任研究員 薄井 雄太
（3）ごま葉枯病およびもみ枯細菌病に対する水稻の抵抗性品種・育種素材の開発
 農研機構作物研究部門 グループ長 溝淵 律子

5. 参集範囲

東北各県の公設試験研究機関・行政機関・普及指導機関、東北農政局、大学、農研機構等国立研究開発法人、「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム会員、その他部会長が必要と認める者

6. 連 絡 先

事務局：農研機構東北農業研究センター 園芸畑作研究領域 今崎 伊織、下田 武志
020-0198 盛岡市下厨川字赤平4 TEL&FAX：019-643-3524（直通）
E-Mail：sh-tohoku_byogaichu@naro.go.jp（病害虫研究会専用アドレス）

7. そ の 他

検討会の運営、日程、資料提出等の詳細については、別途事務連絡する。